

# 5. 京都府北部の MALUI 連携による WEB 公開事業

長谷川 巴南

## 1. 事業の概要

今年度、文化情報学研究室では、地域貢献型特別研究費（ACTR）「京都府北部の MALUI 連携による文化資源を活かした地域づくり」（研究代表者：東昇）の事業の展開として、福知山・舞鶴の文化資源データ作成、MALUI 連携による情報連携プラットフォーム開発をおこなってきた。これは「文化庁・きょうと MAUI 連携センター（仮称）」の嚆矢ともなる事業である。MALUI 連携とは M（博物館）・A（文書館）・L（図書館）・U（大学）・I（企業）の頭文字をとったもので、これまで個々で存在していた各機関の連携を促進し、情報を集約、文化資源の共有化により、地域づくりに新たな循環を作り出そうと意図している。

長期間にわたり舞鶴市で継続して史料調査をおこなってきた文化情報学研究室には、史料目録、史料画像などの文化資源データが蓄積されたことに加え、調査をもとにして高大連携授業、歴史ウォーク、成果報告会、展示、チラシ作成などを実施し地域づくりに携わってきた。

また、舞鶴市が編纂した『舞鶴市史』とそれに付随する『舞鶴市史編さんだより』や、舞鶴郷土資料館での資料館企画展の歴代のデータ、舞鶴地方史研究会が刊行する『舞鶴地方史研究』（既刊 51 号）といった文化資源データが地域で蓄積されてきた。

これらの地域の文化資源データを統一して公開することで、多大な地域のデータに対してより容易にアクセスできる環境が創出できると考える。そのため、文化資源データ・コンテンツなど様々な成果を、包括的にアレンジメントし WEB を媒介して一般に公開することを第一の目標としている。

現在、舞鶴市・舞鶴地方史研究会の協力を得て、WEB サイトを公開予定である。掲載する文化資源データやコンテンツは、以後継続的に調査をおこなう中で更に拡充していく。最終的には公開された文化資源データ等の活用を目的としており、ユーザビリティを優先した WEB サイトづくりを重視している。WEB サイト制作に関しては、福島幸宏（慶応大学文学部准教授、分担者）、国立国会図書館のジャパンサーチの開発に 2018 年から関わっているサイフォン合同会社の協力を得ている。

## 2. WEB の内容

MALUI 連携による文化資源データの公開は、文化資源の活用基盤づくりの新たなモデルであり、データ活用による地域づくりを狙いとする。一次史料に加え、活用の容易な史料のテキストデータ、基礎資料である市史・郡誌や、報告書なども公開の対象である。

①史料の翻刻テキストデータ・史料目録などの文化資源データ

田辺孝子伝・作方年中行事などの翻刻データを掲載する。

②史料をもとにしたコラムの投稿

舞鶴市・舞鶴地方史研究会・文化情報学研究室による調査・研究・報告・講義などの成果を WEB 公開のために再構成し公開する。文化情報学研究室では丹後田辺藩伊佐津村御用日記の翻刻・読解をすすめている。

コラムとして公開することで、公開した文化資源データをより親しみやすく、分かりやすく提供する。

③舞鶴市史・市史編さんだより・倉梯村史・加佐郡誌

舞鶴市が編纂した地域の基礎資料である地誌類をテキストデータで公開する。

④舞鶴地方史研究

舞鶴地方史研究会が昭和 40 年（1965）に刊行を開始した雑誌であり、既刊分の多くを PDF データで公開する。

⑤文化遺産叢書

### 3. 実施調査

当事業は舞鶴郷土資料館での木船家文書調査の際に連携をはかったほか、2022 年 5 月、福知山市が収集してきた自治体史編纂資料の整理の状況を確認するために、福知山市郷土資料館を訪問し調査をおこなった。また、福知山市史編纂時の収集史料の目録作成を進めている。調査参加者は東昇（教員）、滝澤和湖（修士 2 回）長谷川巴南（修士 1 回）、鈴木詩織（学部 4 回）、渡邊幸奈（学部 3 回）、渡部凌空（学部 2 回）である。

### 4. 今後の展開

WEB サイト公開後は、舞鶴地方史研究会や舞鶴の教育機関、そのほか有志の人々による公開データの活用を推進する。地域の歴史文化を学ぶツールとして普及を期待するほか、MALUI 連携の先進的な事例としてさらなる研究・活動を進めていく。

#### 編集後記

フィールド集報は、刊行当初より Adobe 社の InDesign を利用して組版作業を手作りでおこなっている。InDesign の取り扱いは、歴史学科文化遺産学コースのうち、考古・建築・地理の実習メニューに含まれ、本書の一部については、そうした実習のなかで学生が組んだものとなっている。

今年度のフィールド調査においても、各地で多くの方からのご理解とご協力を賜った。ここに改めてお礼申し上げる。歴史や文化遺産にかかる調査は一人では決して成しえないということを、今後も常に意識するように努めたい。(う)

---

京都府立大学文学部歴史学科

## フィールド調査集報 第9号

編集・発行 京都府立大学文学部歴史学科

〒606-8522 京都市左京区下鴨半木町 1-5

発行日 2023年3月30日

印刷 株式会社 北斗プリント社

〒606-8540 京都市左京区下鴨高木町 38-2

---